

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道391号 釧路東インター関連	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局										
起終点	自：北海道釧路郡釧路町中央1丁目 至：北海道釧路郡釧路町中央6丁目	延長	1.6 km												
事業概要 一般国道391号は、釧路市から網走市に至る延長116.1kmの幹線道路であり、物流、観光及び釧路圏の中心都市釧路市へのアクセスルートとして重要な路線である。釧路東インター関連は、国道44号との交差点から釧路東IC交差点間を含む市街部区間の交通混雑を解消する事業である。															
事業の目的、必要性 釧路東インター関連は、釧路都市圏の交通混雑を緩和するバイパス事業である釧路外環状道路「釧路東IC」へのアクセス向上を図ると同時に、慢性的渋滞が発生している国道44号交差点の交通混雑の緩和、釧路湿原、阿寒国立公園、網走国立公園への観光アクセス改善、釧路港からオホーツク方面への物流の効率化、救命救急センターのある釧路市への救急搬送の確実性に大きく寄与するものである。															
全体事業費	50億円		計画交通量	19,900~33,600台/日											
費用対効果分析結果	B/C 3.9	総費用 40億円 （事業費：40億円 維持管理費：0億円）	総便益 153億円 （走行時間短縮便益：147億円 走行費用減少便益：3億円 交通事故減少便益：3億円）	基準年 平成15年											
感度分析の結果 交通量変動：B/C=4.3（交通量+10%） B/C=3.5（交通量-10%） 事業費変動：B/C=3.5（事業費+10%） B/C=4.3（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=3.6（事業期間+20%） B/C=4.0（事業期間-20%）															
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（渋滞の緩和、釧路空港・JR釧路駅へのアクセス向上が見込まれる） 物流効率化の支援（釧路港へのアクセス改善により、生乳等の物流の利便性向上が見込まれる） 個性ある地域の形成（主要観光地の釧路湿原・阿寒国立公園のアクセス向上が期待される） 他のプロジェクトとの関係（高規格道路釧路外環状道路釧路東ICへのアクセス向上が見込まれる） 「他8項目に該当」															
関係する地方公共団体等の意見 釧路東インター関連は、物流、観光等地域産業の支援と地域間交流の促進、交通混雑の緩和や交通事故の低減等重要な役割を果たすことが期待されており、釧路市をはじめとする1市8町1村の首長で構成される釧路地方総合開発期成会より早期整備の要望（平成9年度～平成15年度）を受けている。															
事業概要図 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>——</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>-----</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨</td> <td>新規事業評価箇所</td> </tr> <tr> <td>○○○○</td> <td>調査中</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>						凡 例		——	供用中	-----	事業中	▨▨▨▨	新規事業評価箇所	○○○○	調査中
凡 例															
——	供用中														
-----	事業中														
▨▨▨▨	新規事業評価箇所														
○○○○	調査中														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。